



櫻下支店長から目録を受ける鈴木町長

### 大和ハウス工業(株)がLEDの街路灯を寄贈

大和ハウス工業(株) (本社大阪市) は、東日本大震災の被災地支援と省エネルギー推進をしています。同社岩手支店の櫻下信支店長が8月24日、町長室を訪れ町にLED街路灯1100基が寄贈されました。

櫻下支店長は「地球環境に少しでもお手伝いできれば」と話し、鈴木重男町長は「大事に使わせていただきます」とお礼を述べました。LEDは蛍光灯と比較し、低消費電力、低発熱、長寿命が特徴。町はこれから順次、町内にある防犯灯をこのLEDに交換し、さらに省エネルギーを推進します。

### 木造六観音立像6体が県の指定有形文化財に

宝積寺が所有する「木造六観音立像 6体」が今年5月、岩手県指定有形文化財(彫刻)として指定されました。この仏像は、旧平船寺の像と伝えられカツラ材、一木造、素地仕上げで、岩手のおおらかな信仰と、親しみのある一木仏の伝統を个性的で芸術的に表現した優れた群像彫刻として高く評価されました。

8月6～8日の3日間、「木造六観音立像6体」の文化財指定の調査にあたった盛岡大学・大矢邦宣教授と社会文化学科文化財ゼミの学生20名が平船地区を訪れ、有形文化財の調査や旧平船寺などの聴き取り実習を行いました。



宝積寺で学生らに仏像の説明をする大矢教授



橋の上で声援を送る家族に笑顔がこぼれる姉妹のチーム

### 馬淵川の川下りに50艇 雨少なく浅瀬に大苦戦

田野自治会(合原実榮会長)主催の馬淵川清流川下りは8月16日、50艇約110人が参加して行われました。昨年は増水により中止となったため2年ぶりの開催。開会式で合原会長は「馬淵川から見える葛巻の自然を感じてほしい」とあいさつしました。

親子や兄弟、友達同士でチームを組みヘルメット、救命胴衣に身を包んだ参加者らは、勢いよく上田野集会所前をスタート。今年は雨に恵まれず、どのチームも浅瀬に大苦戦しましたが、橋の上で待ちかまえる家族や仲間の「がんばれ～」の大声援に、笑顔で手を振り応えていました。

### 赤ちゃんってかわいい 高校生がふれあい体験

高校生を対象とした赤ちゃんとの「ふれあい体験学習」が8月3日、保健センターで行われ葛巻高校の生徒7人が参加、赤ちゃんや子育てについて学びました。

生徒たちは、人形を使って抱っここの仕方や赤ちゃんの発育について保健師から説明を受けました。午後の乳児検診では赤ちゃんの計測の手伝いをしたり、検診を待つ赤ちゃんを実際に抱っこしたりしました。森さくらさん(1年)は「赤ちゃんがとってもかわいかったです。ママさんたちからも、つわりが大変だったことなどいろいろな話を聞いて良かったです」と充実した一日を振り返りました。



男子生徒も初参加。乳児検診にもママだけでなくパパの姿も見られました



販売開始の朝6時より早くからたくさんの来場者でにぎわいました

### 地元の新鮮な野菜や花産直連携「あさいち」

くすまき産直連絡協議会(橋場進会長)は8月12日、産直連携「あさいち」をJRバス葛巻駅構内で開催しました。初めての試みに町内の産直販売所6ヵ所が集結。軽トラックの荷台にトウモロコシやトマトなどの採れたての新鮮な野菜やトルコキキョウ、小菊などの花が並びました。お盆前とあって花がお目当てのお客さんが多く、あっという間に完売し、2度3度と入荷に戻るうれしい悲鳴の農家も。

また同日、JA新しいわて女性部葛巻中央支部でも「青空ふれあい市」をモウモウ館前で開催。新鮮な農産物を求め、両会場をはしごするお客さんもたくさん見られました。



参加者全員で記念撮影

### 元栃乃花の二十山親方力士らと高砂荘を慰問

久慈市山形町で夏合宿を行っている大相撲・春日野部屋の二十山親方(元栃乃花)と力士5人は8月16日、特別養護老人ホーム高砂荘を訪れ、入所者と交流しました。

現役時代より約40kg体重が落ちたという二十山親方は、訪れた力士・栃煌山、栃ノ心、栃乃若、栃飛龍、栃港を紹介。お相撲さんになろうと思ったきっかけはという質問に、グルジア出身の栃ノ心は「もともと柔道をやっていて、体が大きかったの」と流ちょうな日本語で話しました。

力士らは、入所者一人一人に声を掛けながら握手をし、全員で記念撮影をしました。